



でもわかる!

森林GIS入門

ArcView版基礎編

その1
起動と終了



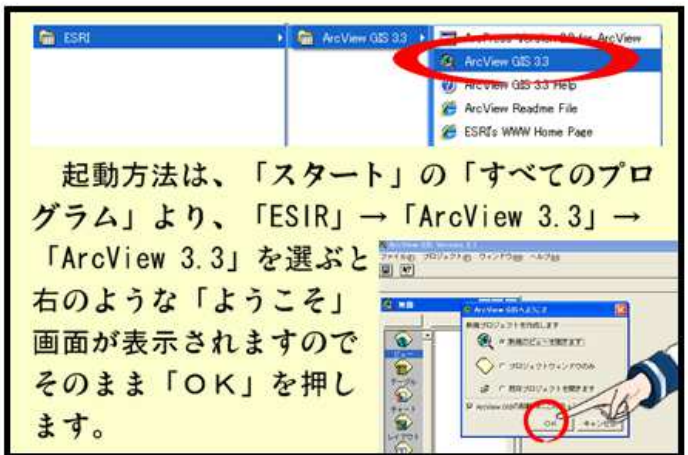
GISの基礎の基礎〜っ

みなさん、こんにちは。
私の名前は「かなめ」です。
皆さんと一緒に森林GIS
の基礎を勉強していきます。
よろしくね!



データを追加するか聞かれますが、ここは取り合えず「いいえ」を選択して下さい。

おほおほ〜っ



起動方法は、「スタート」の「すべてのプログラム」より、「ESRI」→「ArcView 3.3」→「ArcView 3.3」を選ぶと右のような「ようこそ」画面が表示されますのでそのまま「OK」を押します。



GISのデータには、大きく分けて「ポリゴン」「ライン」「ポイント」の3つの形から構成されています。

これらの形が上になったり下になったり様々に重なりあって表示されるのが「GIS」システムです。

ちょっとした「お絵かきソフト」だと思えば簡単ですよ!

①ポリゴン

②ライン

③ポイント

これがGIS三種の神器!



これが基本的なGISの画面となります。この「View」と書かれた部分に、色々な図形が表示されます。

こんな画面になりましたよね。

ぱちぱち
ぱちぱち

「レイアウト」は、印刷するときの配置や凡例を設定する窓です。

「チャート」と「スクリプト」は、取り合えず聞かないで...

ははははは

上から説明しますと、「ビュー」は先ほど説明した図形を表示する窓です。「テーブル」は、図形などの属性データを表示します。

ダブルクリック!

各窓は、右上×をクリックすると消えますが、それぞれの「View」や「Layout」をダブルクリックすることで、再表示されます。

「ビュー」と「レイアウト」を押すと、こんな感じで、それぞれ窓が沢山表示されます。

今回はこのくらいにします。ちよっと簡単すぎたかな？少しづつ、くじけずに気長に頑張りましょうね☆

次回はビューの機能についてです

終了するときには、「ファイル」→「終了」にすると、プロジェクトを保存するか聞かれますので、取り合えず「いいえ」で終了できますよ。

取り合えずは「いいえ」で「終了」です。

説明するときは「いいえ」で「終了」です。